

NEWSLETTER

APL. 2026

ISSUES #12

当社の旬な話題をご紹介します

大気社ニュースレター

発行元：株式会社大気社 経営企画部
広報・サステナビリティ推進課

連絡先：mailmast@taikisha.co.jp



社員の健康を支え、 力を発揮できる職場へ

—ホワイト500認定の背景と、これからの取り組み—

新しい挑戦やアイデアは、安心して働ける環境があってこそ生まれます。

大気社は、2021年から6年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定され、さらにこのたびは上位500法人に与えられる「ホワイト500」にも認定されました。

本号では、当社が進める健康経営の取り組みの中から、生活習慣の改善を中心とした具体策を通じて、社員のヘルスリテラシーやウェルビーイングの向上をどのように支えているのかをご紹介します。

健康経営を支える、全社的な推進体制

大気社では、社員の心と体の健康増進を重要な経営課題のひとつと位置づけ、2020年に「健康経営宣言」を発表しました。社員一人一人の健全な心と体を保つとともに、働く意欲の充実を図り、組織全体の活力向上に取り組んでいます。

また、当社では健康経営優良法人認定制度に参画する以前から、社員の健康を重視した体制づくりを進めてきました。働き方改革においては、長時間労働の是正を最重要課題のひとつと位置づけ、「長時間労働対策会議」を開催し対策案を策定するなど、経営と現場が一体となって課題の把握と改善に取り組んできました。こうした積み重ねが、安心して働ける職場環境づくりの土台になっています。

現在は、そうした取り組みの流れを踏まえながら、健康経営の推進体

制を整え、会社の持続的な成長を支える基盤として社員の健康増進に向けた施策を進めています。健康を個人の問題として捉えるのではなく、経営課題のひとつとして位置づけている点が、当社の特徴です。

こうした取り組みが評価され、当社は2021年から6年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定され、このたびあわせて「ホワイト500」にも認定されました。今後も、社員とその家族にとって魅力ある会社づくりを進めていきます。






2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

6年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定

日常に根づく、健康づくりの取り組み

当社では、生活習慣病発症の要因となっている「食事」「運動」「睡眠（休養）」を踏まえ、日常の中で取り組みやすい施策を展開しています。あわせて、社員が自らの健康状

態を把握し行動につなげる機会づくりや、コミュニケーションの促進など、さまざまな健康課題に対応する取り組みも進めています。

 食事	<ul style="list-style-type: none"> メタボ対策Web支援システムを通じて、食事・運動の観点から生活習慣の改善を支援 「完全人工光型水耕栽培レタス」の無料配布など、健康的な食習慣を促す取り組みを一部拠点で実施 現場で働く社員に、猛暑対策として「塩レモンゼリー」を配布
 運動	<ul style="list-style-type: none"> 「Taikisha健康チャレンジウォーキング」を2022年10月から定期的に実施 健康増進セミナーや体力測定会を通じて、運動習慣の定着と健康意識の向上を促進 これらの取り組みが評価され「スポーツエールカンパニー」に3年連続で認定
 睡眠	<ul style="list-style-type: none"> 勤務間インターバルの確保や休暇取得の促進により、十分な休養時間の確保を推進 今後は特に「休養（睡眠）」に関する施策の強化にも取り組み、より良い働き方の実現につなげていく
その他	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材が能力を発揮できる職場を目指し、「キャリアと育児・介護の両立支援ハンドブック」を発刊 健康セミナー動画をいつでも視聴できる環境を整備し、ヘルスリテラシー向上を支援 チャットアプリの活用、全国5地区でのボウリング大会の実施など、社員間のコミュニケーション促進にも取り組んでいる



健康増進セミナーでは理学療法士が社員と一緒にエクササイズを実践



各地区で開催されるボウリング大会。社員間のコミュニケーションの促進に寄与



スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」制度に3年連続で認定

社員の健康が、会社の力になる

当社が目指しているのは、単に社員の不調を防ぐことではありません。社員一人一人が安心して働き、持てる力を十分に発揮できる状態をつくることです。そうした積み重ねは、働きやすさの向上にとどまらず、仕事への意欲や挑戦する力を育み、組織全体の活力にもつながっていきます。

健康経営は、社員のための取り組みであると同時に、会社の持続的な成長を支える基盤でもあります。大気社はこれからも、社員のウェルビーイング向上を起点に、企業価値の向上に努めてまいります。

「個人任せにしない」支援が、組織を強くする

健康経営は、組織の成長や生産性向上、働きがいの実現に不可欠な経営課題です。

当社は「長時間労働」「生活習慣」「メンタルヘルス」「ワークライフバランス」を重点課題とし、具体的な施策と指標に基づき取り組んでいます。これらは社員が力を発揮する基盤であり、組織全体の成果にも直結します。

今後もデータ活用と対話を通じ、健康づくりを「個人任せ」

にせず、会社として継続的に支える体制を強化していきます。心身の健康を維持し、働きやすさと働きがいを両立できる職場づくりを推進してまいります。



鎌田 哲夫
管理本部
人材開発部長